

2021年 第12回
高校生の

「建築甲子園」

地域の暮らし — これからの地区センター —

主催 公益社団法人 日本建築士会連合会、都道府県建築士会

後援 公益社団法人 全国工業高等学校長協会、国土交通省

- 審査委員長
片山和俊
(東京芸術大学名誉教授)
- 審査委員
竹江文章
(教育・事業本委員会委員長)
- 稲見公介
(青年委員会委員長)
- 本間恵美
(女性委員会委員長)
- 森崎輝行
(まちづくり委員会委員長)

審査総評

今回は新型コロナ感染拡大の影響を受けて1年延期しての再開であった。感染防止の上から直接人に会い共同することが難しい環境から、果たして作品ができるのだろうかと心配していた。従って低調やむなしという思いで審査を迎えたが、審査する間に中々の力作揃いであることが分かり、はじめに応募された皆さんに感謝の意を表したい。

第一次審査(11月11日)は寄せられた作品が34点と多くないことから、野球に因でのトーナメント方式ではなく、1作品毎委員が意見交換をしながらの審査とした。その上で委員による投票と討議を経てベスト8を選定した。

第2次審査(12月13日)は、委員全員で8校から提出された映像プレゼンテーションを1作品毎見て意見交換し、その上でベスト4選定の投票を行い、その結果を踏まえて討議し各賞の選考を進めた。投票の結果京都府舞鶴工業専門学校「融解と浸透」が満票となり、どの委員からの異存もなく優秀賞に決定した。次点は同票2校に対して意見交換を行い、再度投票した結果兵庫県明石工業専門学校「水紋～響き重なるコミュニティの雫」が準優勝となった。その後各委員長より推薦を受けて各賞が選定されたが、今回の選定は、初期の段階では作品に甲乙つけがたく時間がかかるように思われたが、最終段階では驚くほどスナリと決まった。

優秀賞の作品は、他を圧するような強さは感じられなかったが、当初から独特な表現が際立っていた。審査を重ね、内容が読み込まれていく内に、作品が丁寧な観察や組立の上に創出されたものであること、作品テーマのごとく魅力が委員側に徐々に浸透して確かなものになったと思われる。平凡な郊外の町中にある住民間のコミュニケーションのあり方と建築の関係が、細やかな観察と確かな構成に基づき姿を見せ、しかもそれが個性豊かに表現されている。優勝を心から喜ぶたい。敢えて言えば、発見し位置付けた建築的空間にもう一步踏み込んだ具体的な提案があればもっと強かったかも知れない。

最後にベスト8で賞に届かなかった2作品について補足しておきたい。佐賀県の「ときノ廊下」は、重伝建の町に対しての担当の夫々の提案は良かったが、個々の提案と全体の町並みの関係が希薄という指摘があった。また大阪府「IKUNOMIRAI」は、既存廃校に与えた豊富なメニューに感心したが、建築的にもう一步積極的な提案があればと思われた。例えば中庭と繋ぐ、既存校舎各階を吹き抜けや新たな動線で縦につなぐような提案はなかったろうか。力作だけに、コンセプトをより鮮明に伝える空間があればと思われた。

(建築甲子園審査委員長 片山和俊)

2021年 第12回 高校生の「建築甲子園」 審査結果



まちづくり委員長特別賞

舞鶴工業高等専門学校

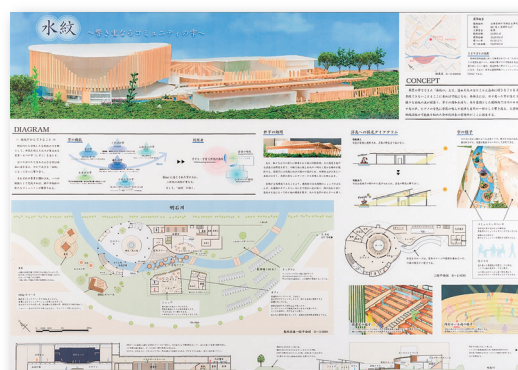
融解と浸透



明石工業高等専門学校

水紋

～響き重なるコミュニティの雫～



BEST8・教育・事業本委員長特別賞

高校名

応募作品タイトル

新潟県立新津工業高等学校

SENZIE の森 (忘れられた暮らしのあり方
先人たちが創ってきた暮らしの知恵と文化)

BEST8・入賞

高校名

応募作品タイトル

堺市立堺高等学校

生野区 未来を創造できる
地区センター「KUNOMIRAI」

佐賀県立嬉野高等学校
塩田校舎

ときノ廊下
古き建物と新しき建物の融合

BEST8・審査委員長特別賞

高校名

応募作品タイトル

青森県立八戸工業高等学校

伝統をのせた舟は時を流れて

BEST8・青年委員長特別賞

高校名

応募作品タイトル

富山県立富山工業高等学校

未来を創る
～減築で生まれるセントラルパーク～

BEST8・女性委員長特別賞

高校名

応募作品タイトル

香川県立高松工芸高等学校

風が流れ、文化の流れを受け継ぐ

奨励賞

高校名	応募作品タイトル
北海道苫小牧工業高等学校 定時制課程	つどい、よりそい、そして、ひろがり
岩手県立盛岡工業高等学校	炯然たる我が理想郷～賢治が描いたイーハトーブ～
秋田工業高等専門学校	まつりから広がるコミュニティ
福島県郡山北工業高等学校	をん
群馬県立桐生工業高等学校	ゆっくりズムのまちに映える 低速電動バス停留所つき地区センター「まゆだま」
埼玉県立大宮工業高等学校(全日制)	さきみたま ～形を変えてよみがえる、思い出の場所～
神奈川県立神奈川工業高等学校	潮風薫る海辺の街で未来を創る ～世代をつなぎ、心をつなぐ地区センター～
山梨県立甲府工業高等学校	鯨骨の夢
静岡県立天竜高等学校	「浦川歌舞伎」復活「歌舞伎の文化」継承
国立岐阜工業高等専門学校	ちょっと背伸びの地区センター
三重県立伊勢工業高等学校	川の暮らしー苑園(その)に建つ町の見晴らし台ー
石川工業高等専門学校・建築学科	ACTIVE HOUSE
福井工業高等専門学校	梵 soyogi ～自然あふれる地区センター～

高校名	応募作品タイトル
滋賀県立安曇川高等学校	「ハレ」と「ケ」の地区センター
奈良県立吉野高等学校	美吉野 地区センター ～美と健康～
岡山県立津山工業高等学校	緑と白と桃色 みんなが違ってみんないい
広島県立福山工業高等学校	密～世代を超えて持続的に利用で来る市民センター～
徳山工業高等専門学校	『須々万第二地区センター』ー地域を見つめる博物館ー
徳島県立徳島科学技術高等学校	新時代のプラットフォーム ～産学連携持続可能な地区センター～
高知県立宿毛工業高等学校	臨救 ～Link～
福岡県立福岡工業高等学校	交共曲 ～地域の絆をクレスシェンド～
長崎県立島原工業高等学校	emotional ～廃校となった母校でできること～
熊本県立球磨工業高等学校	人吉ドームらんど ～絆はギュッと心はパッと～
大分県立鶴崎工業高等学校	高架下にできた大人の秘密基地 ～コロナ禍でも、スポーツを通して地域がつながる～
宮崎県立宮崎工業高等学校	檳地域昭栄町地区センター案 ～檳地域のメインターミナル～
鹿児島県立隼人工業高等学校	屈く奄美 ～Calm Amami with Blue Angel～

※高校生の建築甲子園は、公益社団法人全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター制度の認定プログラムです。

出場校の全作品と審査評は(公社)日本建築士会連合会のホームページでご覧いただけます。

<http://www.kenchikushikai.or.jp>